



学校だより

宮古島市立北小学校
第5号
文責 呉屋 武志

「これからの学力調査」

今、子供たちの学びの環境は大きな転換期を迎えています。文部科学省が実施する「全国学力・学習状況調査」において、紙と鉛筆での筆記から、パソコン上で出題・解答を行う「**CBT方式**」への移行が本格化しています。次年度（令和9年度）には、**小学校・中学校**ともに「国語」と「算数・数学」の**全問でCBTが実施**される予定です。

ここで重要になってくるのが「**タイピングの速度**」です。せっかく問題の答えが分かっているのに、「タイピングが遅くて時間内に解答できなかった」ということになっては、子供たちの本来の力を測ることができません。そのため、低・中学年のうちからタイピング練習を重ね、正しく速く入力する力を鍛えておくことが、学力調査対策、ひいては未来の学びへの大切な土台となります。

文部科学省の出している学年ごとの目安（1分間の入力文字数）は以下のとおりです。

1年生：10.5字 / 2年生：16字 / 3年生：23字 / 4年生：32字 / 5年生：50字 / 6年生：62字

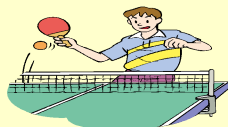
この数値は、例えるなら「**2年生のかけ算九九**」と同じです。その学年のうちに確実に身につけておきたい、これからの時代の「**読み・書き・計算**」に並ぶ基礎基本と言えます。ご家庭におかれましても、利用ルールを守らせつつ子供たちがタイピングに触れる機会を確保できるよう、温かい後押しをお願いいたします。



【クラブ活動】

学校教育におけるクラブ活動は、単なるお楽しみの時間ではなく、「**生きる力**」を育む重要な教育課程（特別活動）です。その最大の意義は、4～6年生が交わる「**異学年交流**」にあります。4・5年生は上級生のきびきびとした動きやリーダーシップに触れ、6年生は下級生をまとめる経験を通して責任感や思いやりの心を育みます。社会に出たときに不可欠となる「**年齢の違う人と協力する力**」を、子供たちはクラブ活動という「**小さな社会**」の中で体験しながら学んでいきます。

本校では、この異学年交流による成長をより確かなものにするため、今年度はクラブ活動の時間を**3時間**増やしています。ご家庭でも、クラブでの経験を聞いていただくとありがたいです。



ありがとうの返事

愛知県の「**五藤 伸賢**」さんから、2年生の「**かねこ はな**」さんへ、心温まるお手紙が届きました。これは、はなさんが送った「**宮古島トライアスロン応援メッセージ**」に対するお礼の手紙です。

かねこはな さん
応援ありがとう！ 完走しましたよ
はなさんもがんばってネ！
ーストロングマン(五藤さん)より

五藤さんは、なんとわざわざレターパックでこのお返事を送っていただきました。「**嬉しくてどうしてもお礼を伝えなかった**」そうです。

島外から参加される選手の方々と、こうして心を通わせ、毎年多くの「**北小ファン**」を生み出している北っ子たち。子供たちの心のこもった歓迎のメッセージがあるからこそ、この大会は島全体で盛り上がる、年に一度の特別なイベントになるのだと改めて実感させられます。



〈児童の活躍報告〉

- ★第15回宮古島幼少年剣道錬成大会
2位 古本形式の部 古屋野 絢太
- ★第42回全国小学生陸上競技交流大会
1位 6年男子走高跳 伊良皆 輝馬
2位 6年女子コンバイン 島尻 琴菜

おめでとう